

アジア 12 カ国・地域から若き起業家が日本に集まり、ビジネスプランを競い合う
国際ビジネスコンテスト「アジア・アントレプレナーシップ・アワード 2013」開催
 ～ 本年度は賞を拡充、一般聴講は無料で参加可能に ～

一般社団法人フューチャーデザインセンター、一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ、東京大学産学連携本部、千葉県、三井不動産株式会社は、アジア各国と連携した国際ビジネスコンテスト「アジア・アントレプレナーシップ・アワード 2013 (AEA 2013)」を、千葉県柏市・柏の葉キャンパス地域の「東葛テクノプラザ」をメイン会場として 5 月 29 日(水)～31 日(金)の 3 日間にわたり開催します。本アワードは、日本が主導してアジアの起業マインドを盛り上げるとともに、新産業創造都市としての街づくりが進む柏の葉キャンパス地域を世界的なイノベーションの一大拠点にしていくことを目指して実施するものです。第 2 回大会となる本年度は賞を拡充し、中国市場開拓のための事業拠点や支援サービスを提供する賞を新たに設定するなど、起業家のグローバルな事業展開をより強力にサポートしていきます。

このほど、事業の革新性や経済的・社会的影響力、実行力に秀でたアジア各国の技術系ベンチャー企業 20 社が、本アワードにノミネートされました。ノミネート企業の起業家たちは会期中、日本のベンチャー支援者によるメンターシップやディスカッション、交流会などで学び合い、人的ネットワークを広げます。最終日には審査員や聴衆の前でビジネスプランのプレゼンテーションを行い、優勝ほか各賞が決定します。

本アワードには、賞金のみならずグローバルな事業展開のサポートを提供する多彩な賞が設定されています。2012 年 5 月に開催した第 1 回大会の優勝企業（シンガポール）と千葉県知事賞企業（タイ）は、日本市場進出に向けて本アワード主催・共催各者より事業拠点の提供や法務支援、人材や事業パートナーの紹介などを受け、今春から柏の葉キャンパス地域のインキュベーション施設「東葛テクノプラザ」で事業展開を始めました。第 2 回大会となる本年度は賞をさらに拡充し、中国の瑞安集團（瑞安グループ）の協賛による「瑞安賞」などを新たに追加しました。瑞安賞の受賞者には、中国市場開拓の拠点として上海のインキュベーション施設「InnoSpace」の使用権や現地でのメンターシップ、法務・技術・人材支援サービスが提供されます。

会期中はコンテストのほかにも、アントレプレナーシップ（起業家精神）の社会的意義やベンチャー企業支援のあり方に関する講演会、昨年度受賞者スピーチなどの多彩なプログラムを行います。また今年はいよいよ多くの方の来場を促進するため、一般聴講を無料としました。アジア最高峰の起業家と出会い、最先端の技術やビジネスモデルに学び、投資や事業連携を探る機会として、投資家や事業家、起業を志す学生など幅広い方々の一般聴講参加を見込んでいます。



昨年度のファイナル風景。プレゼンテーションや質疑応答はすべて英語で行われる。



昨年度の受賞者発表の様子。右から 3 人目が優勝した Clearbridge BioMedics 代表の Johnson Chen 氏。

開催概要

- 【名称】 アジア・アントレプレナーシップ・アワード 2013 (AEA 2013)
【日程】 2013年5月29日(水)～31日(金)
【会場】 5月29日：有楽町朝日ホール(東京都千代田区・有楽町)
5月30～31日：東葛テクノプラザ(千葉県柏市・柏の葉キャンパス地域)
【使用言語】 英語(一部プログラムは日本語または日英同時通訳にて進行)
【参加費】 無料(一部プログラムを除く)
【公式ホームページ】 <http://www.fdc.or.jp/aea/>
【主催】 (一社)フューチャーデザインセンター
【共催】 (一社)TX アントレプレナーパートナーズ、東京大学産学連携本部、千葉県、三井不動産(株)

エントリー企業の選出

各国・地域のノミネーション委員が、下記の要件を満たす企業を1社ずつ選出。

- ① 設立5年以内であること ② 未上場会社であること ③ テクノロジーベンチャー企業であること

※エントリー企業の詳細および各国・地域のノミネーション委員については別紙参照

※日本国内からは、2013年3月25日に実施した国内予選を勝ち抜いた6社がノミネートされています

審査方法

- 5月31日に行われるセミファイナル/ファイナルで各企業がプレゼンテーションを実施
- セミファイナルではエントリー企業がそれぞれ10分間のプレゼンテーションを行い、上位6社がファイナルに進出。
- ファイナルでは6社が15分間のプレゼンテーションを行い、公正な審査のうえ各賞受賞者を選出。

審査基準

- ① 事業の革新性/経済的・社会的影響力
(世界経済・社会に変革をもたらす可能性、事業の拡張性)
- ② 事業の実行力
(競争優位性、マネジメントチーム、戦略の全体整合性、プレゼンテーションスキルを含むコミュニケーション能力)

各賞の内容

- **優勝** 賞金 300 万円 ■ **準優勝** 賞金 150 万円 ■ **第3位** 賞金 50 万円

*優勝～第3位の受賞者には副賞として各2台ずつノートパソコンが日本ヒューレット・パカード株式会社より贈呈されます

■ 千葉県知事賞

「東葛テクノプラザ」への3年間無料入居権

*東葛テクノプラザとは、千葉県柏市・柏の葉キャンパス地域のインキュベーション施設です

■ インテル賞

「Intel Asia Pacific Challenge (2013年8月に台湾で開催予定)」への出場権

*日本からのエントリー企業のうち最優秀チームに贈呈される賞です

*Intel Asia Pacific Challenge は、インテル社が主催するアジアの起業家コンテストです

■ 瑞安賞(新設賞)

- 中国市場開拓の拠点として「InnoSpace」を使用できる権利(6ヶ月間・代表者2名まで無料)
- KIC および InnoSpace のビジネスマッチングセッションへの無料参加権
- 法人格付与、リクルート、法律相談等の支援サービス(無料)
- 受賞企業代表者2名分の拠点国～中国・上海間の往復航空券

*ITまたはIT関連クリーンテクノロジー分野のエントリー企業のうち最優秀チームに贈呈される賞です

*InnoSpace は上海の複合コミュニティ「創智天地(KIC)」に設置されたインキュベーション施設です

■ 日本ニュービジネス協議会連合会会長賞(新設賞)

賞金 30 万円

<主催者について>

一般社団法人フューチャーデザインセンター (FDC) [WEB] <http://www.fdc.or.jp/>

FDCは、環境・資源問題、食糧問題、医療問題、教育問題などの様々な課題に対して、国内外から優れた知と技術を結集し、課題解決の先進モデルを示す実践型シンクタンクです。FDCのミッションに関わる様々な分野においては、最先端の需要をキャッチする先見性、意欲、実行力などを備えもった起業家の活躍が重要となります。このようなイノベーションに挑戦する起業家を国を越えて支援し、新産業育成を促進させることを目的に、本アワードを開催します。

<共催者について>

一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ (TEP) [WEB] <http://www.tepweb.jp/>

TEPは、つくばエクスプレス沿線を中心に起業家やベンチャー企業の支援活動を行う組織であり、地域の大学、研究機関、行政、民間企業、個人支援者が連携して、持続可能なベンチャー支援のネットワーク構築を進めています。起業家が自国・地域内に留まらずアジアや世界に視野を広げる機会として本アワードを開催し、つくばエクスプレス沿線エリアの創業育成環境をより一層醸成していきたいと考えています。

東京大学産学連携本部 [WEB] <http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/>

東京大学産学連携本部は、東京大学のオリジナルな研究成果を社会に実装し、インパクトの高いイノベーションを実現すべく、知的財産の発掘・評価、管理・活用、起業・事業化に係る支援を行っています。起業・大学発ベンチャー支援としては、インキュベーション事業や学生起業家育成教育プログラムを主催し、また(株)東京大学エッジキャピタルがベンチャーキャピタルファンドを運営するなど、多様な活動を行っています。本アワードを通じて、グローバルな視点に立ってさらなる起業文化・アントレプレナーシップの醸成を進めてまいります。

千葉県 [WEB] <http://www.pref.chiba.lg.jp/>

千葉県は、世界とつながる成田空港を擁し、首都近郊のロケーションと若く優秀な人材にも恵まれた県です。東京大学などの学術研究機関やIT・バイオを含むテクノロジー系企業が集積するつくばエクスプレス沿線地域では、インキュベーション施設「東葛テクノプラザ」を中核に、産学官連携による研究開発促進などの新産業創出に向けた取り組みを進めています。国内外から起業家や支援者が一堂に会する本アワードを通じて、当地域がイノベーションと創業の拠点としてさらに発展していくことを期待しています。

三井不動産株式会社 [WEB] <http://www.mitsufudosan.co.jp/kashiwanoha/>

三井不動産株式会社は、柏の葉キャンパス地域において環境共生・健康長寿・新産業創造を目指した「柏の葉スマートシティ」の街づくりを進めています。2014年春に竣工予定である柏の葉キャンパス駅前の複合施設では、緑豊かで創造的なオフィス環境とベンチャー支援体制を完備したイノベーション拠点の創出を計画するなど、新産業創造に向けた取り組みを積極的に行っており、本アワードもこれら街づくりの一環として実施するものです。

<添付資料： ①プログラム内容 ②エントリー企業 ③ノミネーション委員 ③第1回大会受賞者>

【本件に関するお問い合わせ先】

《一般の方からのお問い合わせ先》

アジア・アントレプレナーシップ・アワード 2013 準備運営事務局

Tel : 03-3502-6871 (受付時間：平日 10:00~17:00) E-mail : reg-aea2013@convention.co.jp

《報道関係の方からのお問い合わせ先》

アジア・アントレプレナーシップ・アワード 2013 広報事務局 (プ ラ ッ プ ジ ャ ン 内) 担当：小林、丸浜

Tel : 03-4580-9104 Fax : 03-4580-9130 E-mail : aea-pr@ml.prap.co.jp

※ 本資料は経済産業省記者会、経済産業省ペンクラブ、千葉県政記者会、千葉民間放送テレビ記者クラブ、柏記者クラブ、大学記者会、文部科学省記者会、科学記者会、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会に配布しております。

2013年5月29日(水) 会場:有楽町朝日ホール(東京都千代田区有楽町2-5-1)

～ 記念講演会「いでよ 若き起業家たち」～

- 13:00 挨拶 *
- 各務 茂夫 AEA 2013 ノミネーション委員会委員長
/東京大学教授 産学連携本部イノベーション推進部長
- 13:15 講演: 世界で戦うとは *
- 為末 大 元プロ陸上競技選手/一般社団法人アスリートソサエティ代表理事
- 14:00 講演: 日本から世界へ グローバルアプリ「LINE」の成長と挑戦 *
- 森川 亮 LINE 株式会社 代表取締役社長
- 14:45 休憩
- 15:00 座談会 * (モデレーター:各務 茂夫 パネリスト:為末 大、森川 亮)
- 16:00 休憩
- 16:15 メンタリング・セッション (エントリー企業各社プレゼン 10分+メンタリング 15分) *
- 18:15 終了

アワード出場者は午前および夜に、オリエンテーションやエクスカージョン、歓迎夕食会を行います。

2013年5月30日(木) 会場:東葛テクノプラザ(千葉県柏市柏の葉5-4-6)

～ シンポジウム「アジアからのイノベーション」～

- 10:00 オープニングスピーチ *
- 小宮山 宏 一般社団法人フューチャーデザインセンター 提唱者・最高顧問
- 10:40 基調講演: “Delight: It's In Our Pocket” *
- 南場 智子 株式会社ディー・エヌ・エー 取締役 ファウンダー
- 11:30 昨年受賞者スピーチ *
- 12:00 休憩
- 13:00 アンカンファレンス 提供:株式会社ロフトワーク
- 話したいテーマを参加者が自由に提起し、参加者同士でディスカッションする「アンカンファレンス」を7グループに分かれ、45分×3セッション行います。ネットワーキングはもちろん、議論を通じたイノベーションのヒントが生まれることを目指しています。
テーマ提起はどなたでも可能です。当日朝に会場で受け付けます。
- 17:00 休憩
- 17:30 ネットワーキングディナー
- アジアの若い起業家と交流を深める機会として、アンカンファレンスの参加者を対象に有料(2,000円/当日受付にて支払い)にて参加いただけます。

2013年5月31日(金) 会場:東葛テクノプラザ(千葉県柏市柏の葉5-4-6)

- 9:30 セミファイナル(予選)
- エントリー企業20社が4グループに分かれ、各社プレゼン10分・質疑応答10分を行います。
- 12:00 休憩
- 13:00 ポスターセッション
- エントリー企業各社が来場者と直接対話して製品・技術・ビジネスモデルをアピールします。
- 13:30 ファイナル(決勝戦) 出場者発表
- 14:10 ファイナル(決勝戦)
- セミファイナルを勝ち抜いた6社が、プレゼン15分・質疑応答10分を行います。
- 17:15 終了
- アワード出場者や招待者を対象に、19:00よりフェアウェル・レセプション(受賞者発表)を行います。
一般向けの受賞者発表は当日20:30頃にホームページ(<http://www.fdc.or.jp/aea/>)で行います。

*日英同時通訳つきプログラム。その他のプログラムは英語のみで進行します。

添付資料② アジア・アントレプレナーシップ・アワード 2013 エントリー企業

※企業名の英語表記 ABC 順にて記載

No	会社名 事業内容	代表者 国・地域
1	株式会社アスカラボ	角田 哲也
	複合現実感(Mixed Reality)システムの開発	日本 (東京都目黒区)
2	株式会社アクセルスペース	中村 友哉
	超小型衛星の設計/製造/運用	日本 (東京都千代田区)
3	AyoxxA	Andreas SCHMIDT
	タンパク質解析技術の商品化	シンガポール
4	CONNEX SYSTEMS 株式会社	塚本 壽
	蓄電池システムの製造	日本 (京都府京都市)
5	CV. IT PRO Solutions	Aloysius Bambang PRAYITNO
	バス遠隔監視/発券マシンの開発	インドネシア
6	Gauss Lasers Technology Co., Ltd	Shian ZHOU
	超短パルスファイバーレーザーの開発	中国
7	ジーンフロンティア株式会社	田邊 明紀
	バイオ医薬開発ソリューションの提供	日本 (千葉県柏市)
8	NetBIM	Hongqiang WANG
	3D バーチャルツアー/3D デザインツールの販売	中国
9	Ningbo Greens Packing Technology Co., Ltd.	Liu CHENG
	梱包用緩衝材の販売/梱包用緩衝材生産装置の販売	中国
10	Piktochart Sdn Bhd	Ai Ching GOH
	インフォグラフィック作成アプリケーションの提供	マレーシア
11	Playnote Limited	Eric YUNG
	音楽教育ソフトウェアの提供	香港
12	クオンタムバイオシステムズ株式会社	本蔵 俊彦
	DNA/RNA シークエンサーの開発	日本 (大阪府吹田市)
13	Rayark Inc.	Shih Chun CHANG
	ゲーム開発	台湾
14	Social & Mobile, Inc.	Sungsuh PARK
	メモ帳アプリケーションの開発/提供	韓国
15	TaraFresh	Boonying BURANAWATTANACHOK
	浄水装置の開発/販売	タイ
16	テラモーターズ株式会社	徳重 徹
	電動バイク/シニアカーの開発/設計/販売	日本 (東京都渋谷区)
17	TurtleYogi Technologies Pvt Ltd	Hrishikesh KULKARNI
	映像/音声通信のクラウド型サービスの提供	インド
18	Unisoft	Do Dinh KHOA
	外国語教育ソリューションの提供	ベトナム
19	X2wave Systems Inc.	Rene Adrian S. FLORES
	医師と患者をつなぐ医療/健康情報システムの提供	フィリピン
20	Xcode Life Sciences Private Limited	Saleem MOHAMMED
	遺伝/環境パラメータを用いた疾患リスク情報の提供	インド

添付資料③ アジア・アントレプレナーシップ・アワード 2013 ノミネーション委員

各務 茂夫 (ノミネーション委員会委員長)
 東京大学 教授, 産学連携本部 イノベーション推進部長, 日本

※以下、ノミネート企業名の英語表記 ABC 順にて記載

1	<p>長谷川 克也 東京大学 産学連携本部 イノベーション推進部 特任教授, 日本 (ノミネート企業 : 株式会社アスカラボ)</p>
2	<p>村井 勝 一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ 代表理事, 日本 (ノミネート企業 : 株式会社アクセルスペース)</p>
3	<p>Poh Kam WONG シンガポール国立大学, シンガポール Professor, National University of Singapore (ノミネート企業 : AyoxxA)</p>
4	<p>更田 誠 公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM) 新事業創出支援部 次長, 日本 (ノミネート企業 : CONNEXX SYSTEMS 株式会社)</p>
5	<p>Totok Hari Wibowo インドネシア共和国政府, インドネシア The Coordinating Ministry for Economic Affairs of the Republic of Indonesia (ノミネート企業 : CV. IT PRO Solutions)</p>
6	<p>Richard TAN InnoSpace, 中国 Chief Executive, InnoSpace @Knowledge & Innovation Community (ノミネート企業 : Gauss Lasers Technology Co., Ltd)</p>
7	<p>小宮山 勉 柏市役所 商工振興課長, 日本 (ノミネート企業 : ジーンフロンティア株式会社)</p>
8	<p>Jie NI 清華大学, 中国 Lecturer, Students' affairs office of Tsinghua University (ノミネート企業 : NetBIM)</p>
9	<p>Guan HUANG 北京大学, 中国 Acting Director, Academic & Entrepreneur Department of Youth League of PKU (ノミネート企業 : Ningbo Greens Packing Technology Co., Ltd.)</p>
10	<p>Ahmed Razman ABDUL LATIFF マレーシアプトラ大学, マレーシア Director, Non-Thesis Programme, Putra Business School, Universiti Putra Malaysia (ノミネート企業 : Piktochart Sdn Bhd)</p>
11	<p>Anthony E. Tan 香港科技园公司, 香港 Chief Executive Officer, Hong Kong Science and Technology Parks Corporation (ノミネート企業 : Playnote Limited)</p>
12	<p>隅田 剣生 大阪大学 産学連携本部 総合企画推進部 産学連携准教授, 日本 (ノミネート企業 : クオンタムバイオシステムズ株式会社)</p>
13	<p>Chao - Tung WEN 国立政治大学, 台湾 Professor, Graduate Institute of Technology & Innovation Management, National Chengchi University (ノミネート企業 : Rayark Inc.)</p>

14	<p>Gyewan MOON 慶北大学校, 韓国 Full Professor, School of Business Administration, Kyungpook National University (ノミネート企業 : Social & Mobile, Inc.)</p>
15	<p>Nattakrit WU タマサート大学, タイ Committee, IMBA, Thammasat University (ノミネート企業 : TaraFresh)</p>
16	<p>松田 修一 早稲田大学 名誉教授, ウェルインベストメント(株) 取締役会長, 日本 (ノミネート企業 : テラモーターズ株式会社)</p>
17	<p>Guhesh RAMANATHAN インド経営大学院バンガロール校, インド Chief Operating Officer, Indian Institute of Management Bangalore (ノミネート企業 : TurtleYogi Technologies Pvt Ltd)</p>
18	<p>Thuy Thu NGUYEN ハノイ貿易大学, ベトナム Dean of Faculty of Business Administration, Foreign Trade University (ノミネート企業 : Unisoft)</p>
19	<p>Antonio Mendoza DELCARMEN アテネオ・デ・マニラ大学, フィリピン Program Director / Professor, Master in Entrepreneurship, Ateneo de Manila University Graduate School of Business (ノミネート企業 : X2wave Systems Inc.)</p>
20	<p>Suresh KUMAR PSG-STEP, インド General Manager, PSG-STEP (ノミネート企業 : Xcode Life Sciences Private Limited)</p>

添付資料④ 第 1 回大会(アジア・アントレプレナーシップ・アワード 2012)受賞者の紹介

第 1 回アジア・アントレプレナーシップ・アワードは 2012 年 5 月、アジア 12 カ国・地域からノミネートされた 18 社のベンチャー企業と約 550 人の聴講者を千葉県柏市・柏の葉キャンパス地域に集めて行われました。第 1 回大会の受賞者は以下のとおりです。

優 勝	Clearbridge BioMedics Pte Ltd (シンガポール) 代表者: Johnson Chen (Managing Director) 最新鋭マイクロフルイデックス技術を活用した次世代がん診断装置の開発
準優勝	Neugent Technologies (フィリピン) 代表者: David R. Cruz III (Board Director, Co-Founder) スマートホーム、スマートオフィス、スマートスクールを実現するデバイスの開発・製造
第 3 位	WorkLohas Technology Co., Ltd. (台湾) 代表者: George Chiu (CEO) ユーザがウェブページを保存して分類整理、情報発信、共有するソーシャルサービスの提供
千葉県知事賞	Flexoresearch Group Co., Ltd. (タイ) 代表者: Paijit Sangchai (CEO & Founder) ラミネート紙をはじめとしたパルプ、製紙、印刷、包装、廃棄物等のリサイクル技術開発
インテル賞	株式会社クオリティエクスペリエンスデザイン (日本) 代表者: 太田 啓路 (代表取締役) 3D 変換技術・イメージング技術など 3D 映像制作に関わるトータルサービスの提供

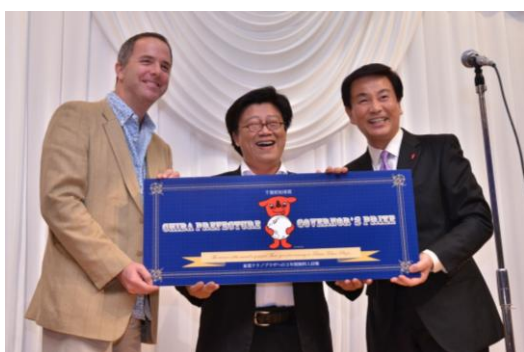
なお、2013 年 5 月 30 日には第 1 回大会で優勝した Clearbridge BioMedics 社と千葉県知事賞を受賞した Flexoresearch Group 社による記念スピーチが行われます。

受賞企業が日本市場進出を実現

昨年度千葉県知事賞を受賞した Flexoresearch Group 社は、牛乳パックや紙コップに使用されるラミネート加工紙を、特殊な酵素で分解・再資源化する技術の研究開発を行う企業です。この技術を利用したリサイクル事業の日本市場進出に向けて、本アワードの主催・共催各者は様々な支援を行ってきました。

千葉県は日本での事業拠点として柏の葉キャンパス地域のインキュベーション施設「東葛テクノプラザ」の 3 年間無料入居権を提供し、資源回収先についてのアドバイスや国内事業者をパートナー候補として紹介するなど具体的な支援を行っています。また TX アントレプレナーパートナーズは、資本政策や国際法務の支援、人的資源の紹介などを継続的に行っています。これらの支援を受けて現在、日本における事業展開のため東葛テクノプラザ内に株式会社エル・ダブル・ピーの設立を進めており、酵素分解技術を用いたリサイクル工場の設計・コンサルティング事業の日本市場展開を目指した取組みが始まりました。

株式会社エル・ダブル・ピー代表の野津忠夫氏は今後の事業構想を次のように語ります。「タイの酵素分解技術と日本の先進技術を組み合わせた次世代型リサイクル工場モデルを創出し、世界へ展開したいと考えています。日本には発電技術、熱交換技術、水処理技術などの世界的技術を有するベンチャー企業が多数存在します。このような企業と連携することで、ラミネート加工紙から抽出したポリエチレンをエネルギー資源として工場内で自家発電し、水も再処理して使用する 100%循環型リサイクル工場の実現を目指しています。」



第 1 回大会授賞式の様子。写真中央が Flexoresearch Group 社 CEO の Paijit Sangchai 氏



東葛テクノプラザ内に設置したリサイクルシステムのデモ機器